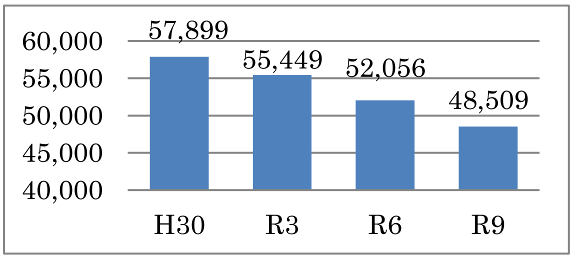
休日の学校部活動の地域クラブ活動への移行について

長野県教育委員会事務局　スポーツ課

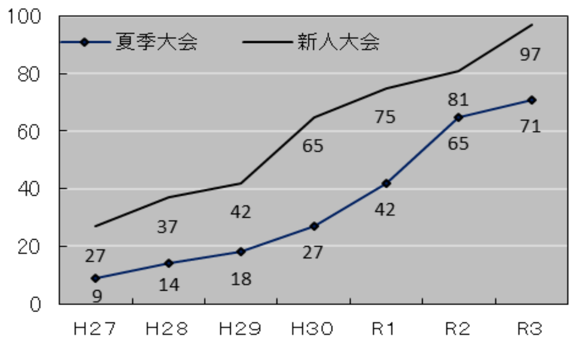
本県の運動部活動の現状

少子化により、学校単独での部活動運営が困難

生徒数の推移予測（中体連調査）

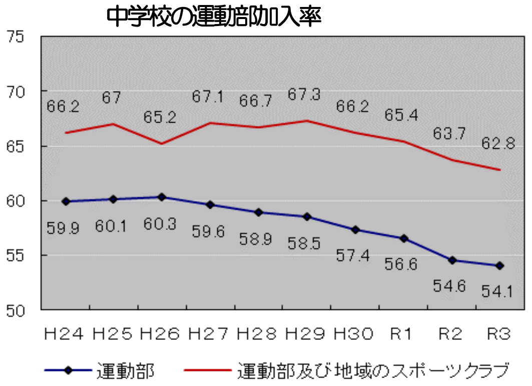


中学合同チームによる大会参加数



運動部加入率の低下・部活動離れの傾向

中学校の運動部加入率



高校で運動部に加入しなかった理由ベスト５

1	他にやりたいことがある	11.2%
2	自由な時間が欲しい	10.0%
3	中学までにやり尽くした	9.8%
4	休日が少ない	8.6%
5	勉強に力を入れたい	8.3%

（平成29年度長野県高等学校体育連盟調査）

運動部顧問の先生の競技経験

（R3県スポーツ課調べ）

担当競技の経験あり	担当競技の経験なし		
	担当競技以外の経験あり	運動経験なし	計
39%	46%	15%	**61%**

運動部活動の課題

〇生徒数の減少により、学校単独での活動や大会参加が厳しくなる。
〇部活動数及び部員数の減少により、希望する活動が選択できなくなる。
〇部活動のやりすぎ等により、運動部から離れてしまう生徒もいる。
〇約６割の先生が、競技経験のない顧問をつとめる。
〇休日の指導や大会引率等による先生の負担が大きい。

休日の学校部活動を地域クラブ活動へ移行

～スポーツ庁の検討会議　提言　令和４年６月６日　から抜粋～

運動部活動の地域移行は、単に運動部活動を学校から切り離すということではなく、子供たちの望ましい成長を保障できるよう、地域の持続可能で多様なスポーツ環境を一体的に整備し、地域全体で子供たちの多様なスポーツの体験機会を確保する必要がある。（略）地域におけるスポーツ振興により一層取り組む必要があり、国及び地方公共団体等において、運動部活動の改革を契機として、中学生にとどまらず多様な世代が参加する地域のスポーツ環境の充実を図る機会にしていくことが重要である。

～「休日の学校部活動の地域クラブ活動への移行」とは～

Q：令和５年度から、学校の部活動はなくなるのですか？

A:なくなりません

合意形成や準備が整ったところから、休日の学校部活動を地域クラブ活動に移行していきます。

Q：保護者の負担は増えますか？

A:財政支援を検討しています

学校の活動でなくなるため、会費や保険料等の費用が生じる場合があり、国や県などで財政支援を検討しています。

長野県PRキャラクター「アルクマ」
©長野県アルクマ

Q：大会参加はどうなりますか？

A:中体連の大会にも参加できます

令和５年度から、一定の条件のもと地域スポーツ団体等に所属する生徒も中体連の大会に参加できるようになります。

Q：文化部の休日の部活動はどうなりますか？

A:地域クラブ活動への移行を進めます

文化部も運動部同様、休日の学校部活動について、地域クラブ活動への移行を進めていきます。

～地域クラブ活動への移行で子どもたちの可能性が広がる～

地域の指導者から、専門的で質の高い指導を受けることができる

競技力を高めたい！

いろんな運動にチャレンジしたい！

運動の楽しさを味わいたい！

地域のスポーツ環境の整備により、子どもたちの志向や体力等の状況に適したスポーツの機会が確保できる

子どもたちの多様なニーズに応えることができる

学校部活動の地域クラブ活動への移行は、子どもたちの幸せの実現のために、学校・地域の実情に合ったスポーツ環境の整備と充実を目指していくための第一歩です。